

CB1000R 環境仕様 【 】内はBlack Edition

基本情報	車名・通称名		ホンダ・CB1000R		
	乗車定員(人)		2		
	車両型式		8BL-SC80		
	エンジン	型式	SC80E		
		総排気量 (cm ³)	998		
		種類	水冷4ストロークDOHC4バルブ直列4気筒		
		使用燃料	無鉛レギュラーガソリン		
		最高出力(kW[PS]/rpm)	107[145]/10,500		
		最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	104[10.6]/8,250		
	駆動装置	変速機	常時噛合式6段リターン		
車両重量(kg)		213【214】			
備考		-			
環境性能情報	燃料消費率*1 (km/L)	国土交通省届出値:定地燃費値*2(km/h)	23.0(60)〈2名乗車時〉		
		WMTCモード値*(クラス)*3	17.2(クラス 3-2)〈1名乗車時〉		
	排出ガス	適合規制レベル		平成32年規制に適合	
		WMTCモード規制値(g/km)	CO	1.00	
			HC	0.10	
			NMHC	0.068	
			NOx	0.060	
	参考	エンジン改良 二次空気供給装置 三元触媒(モノリス) シールド式ブローバイ・ガス還元装置 燃料蒸発ガス抑止装置 車載式故障診断装置			
	騒音	適合規制レベル		平成28年規制に適合	
		加速騒音規制値(dB)		国連協定規則第41号第4改定版による。	
参考		-			
環境負荷物質削減	鉛*1	自工会2006年目標達成済(60g以下)			
	水銀*2	自工会目標達成済			
	六価クロム	自工会目標達成済(2008年以降使用禁止)			
	カドミウム	自工会目標達成済(2007年以降使用禁止)			
	※1 平均的乗用車の鉛使用量は1,850g(バッテリーを除く) ※2 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外 (ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメータ、 ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯)				
環境への取り組み	リサイクル	1992年から新規開発機種ごとに3R事前評価システムに基づいてチェックを実施し、その向上を図っています。また、可能な限り小さな樹脂部品にまで材料名表記を実施しています。			

■国土交通省届出値を記載。(★の項目はHonda公表諸元)

■排出ガス - 適合規制レベル

排出ガス適合規制レベル(国土交通省の許可を取得した規制値)と走行モード(二輪車モードまたはWMTCモード)に基づく規制値を記載。規制名称または規制開始年を記載。

■騒音 - 適合規制レベル

適合規制レベルとして加速騒音規制値を記載。

*1 燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。

*2 定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です。

*3 WMTCモード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果にもとづいた計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます。

WMTCモード値については、日本自動車工業会ホームページ(<https://www.jama.or.jp/operation/motorcycle/>)もご参照ください。